

部門	工事写真	工事名	国庫災 飯森新橋線外1路線 災害復旧工事
道路部門		工事場所	長野市大字塩生甲
		受注者	北條・新光建設共同企業体
		工事概要	復旧延長 L=158m W=4.1~7.0m アンカー工 L=34.0~37.5m N=20本 法枠工 A=326㎡ 舗装工 A=1,350㎡、排土工 V=21,500㎡ 植生工 A=4,700㎡、水路工 L=796m 側溝工 L=220m
	評価ポイント	本工事は、令和2年7月豪雨により発生した地すべりの災害復旧工事である。 掘削排土中の地山変動の恐れがある中、起工測量から施工、出来形管理の各段階で、ICT技術（UAV 測量、3次元設計データの作成、3DMG バックホウ）を活用し、丁張作業の削減、人為的なミスの回避、施工管理・安全管理の向上など作業の効率化・安全化を図るとともに、精度の高い長大切土法面を完成させた。 また、ICT施工や特殊な運搬機械の導入により、掘削・運搬作業時間が大幅に短縮でき、花上地区と飯森新橋線を結ぶ小田切47号線を降雪期前に全面開放するなど、道路利用者の安全にも配慮した。	

部門	工事写真	工事名	国補 千曲川新道活性化プラン （綿内北工区）道路築造2工区工事
道路部門		工事場所	長野市若穂綿内
		受注者	株式会社大松建設
		工事概要	道路築造工 L=892m W=5.0m 舗装止め工 L=1,729m アスファルト舗装工 A=4,224㎡ 照明工 N=10基
	評価ポイント	旧長野電鉄線路敷を活用して自転車歩行者専用道路を築造する工事である。 施工延長が長く出入り箇所が少ないなど特有な現場制約がある中、適切な施工管理や地元調整により、作業の輻輳なく工事を竣工した。特に、約1.7kmに及ぶ舗装止め工において、二次製品を使用することで施工期間の大幅な短縮を図り、沿線地域への影響を最小限に抑えた。 また、既存横断水路の暗渠化工事において、製造過程でコンクリートにバクテリアを混合し経年劣化によるひび割れを自然修復するボックスカルバートを採用するなど、細部まで配慮した施工を行った。	

部門	工事写真	工事名	国補 裾花あやとり橋橋梁補修工事
道路部門		工事場所	長野市中御所五丁目
		受注者	川浦土建株式会社
		工事概要	橋長 L=151.0m 幅員 W=16.8m (車道 W=9.0m、歩道 (両) W=7.0m) 主塔補修工 N=1 式 主塔横桁補修工 N=1 式
	評価ポイント	主塔及び主塔横桁部のひび割れ補修工及びコンクリート剥落防止工を実施したものである。 高所作業時の安全性確保にあたり、構造計算に基づいた計画の立案や養生シートによる落下防止対策を行うとともに、歩道部へのLED ライト設置による夜間の安全対策や通勤通学の時間帯を外した作業計画などを提案し実践することで、通行者への安全確保に努めた。 また、材料運搬にあたり、電動ウィンチの使用による作業員の負担軽減を図り、安全性及び施工性を向上させながら、工期短縮につなげた。	

部門	工事写真	工事名	国補 川中島幹線道路築造工事
道路部門		工事場所	長野市篠ノ井布施高田
		受注者	川中島建設株式会社
		工事概要	道路築造工 L=170m W=16m 車道舗装工 アスファルト舗装 (基層工) A=1,470㎡ 歩道舗装工 透水性アスファルト舗装 A=455㎡ 排水構造物工 側溝 L=486m 集水樹 N=10基 縁石工 L=489m
	評価ポイント	工事箇所は住宅街密集地であり周辺住民への配慮が不可欠であることに加え、ライフラインや雨水渠工事などが輻輳する複雑な現場環境である。日々変動する規制を周知するため、他工事も含めた予定看板の作成や共通使用できる通行止め看板を設置するなど、分かりやすく周知した。 施工前に現地測量を入念に実施し、側溝規格の見直しや今後の管理とコストに配慮した排水系統の最適な提案を行い施工を実施するとともに、各工種において品質管理を徹底した。 また、働き方改革の取組みとして、現場代理人の業務負担を軽減するため、申請書類作成や写真整理などを建設ディレクターが担い、約50 時間の業務時間を縮減した。	

部門	工事写真	工事名	国補 戸隠北31号線 2 工区 道路美装化工事
道路部門		工事場所	長野市戸隠
		受注者	吉原建設工業株式会社
		工事概要	道路美装化工 L=75m 自由勾配側溝300型 L=29m 横断用自由勾配側溝400型 L=4m 横断用U型側溝300型 L=22m 皿型側溝350型 L=56m 半たわみ性舗装 W=2.7~5.1m A=265㎡
	評価ポイント	本工事は、戸隠神社中社鳥居の東側市道における道路美装化工事であり、工事箇所は、重要伝統的建造物群保存地区内にあり茅葺きの歴史的建造物や石積が連なり、歴史や風情を感じる町並みを求め多くの観光客が回遊する場所である。 狭隘で多くの地下埋設物や湧水流出が工事に支障となる中、受注者は、周辺の住民や飲食店事業者等と丁寧に調整を行うとともに、入念な試掘により既存埋設物などの位置を正確に把握し、既存側溝河床からの漏水に対して敷設替えを提案するなど、安全性の確保と手戻りの無い確実な施工を実施し、仕上がりも良好である。	

部門	工事写真	工事名	県補 柳原 1 号幹線排水路改修工事
河川部門		工事場所	長野市大字西尾張部
		受注者	株式会社守谷商会
		工事概要	排水路工 L=49m コンクリート矢板護岸 H=9m L=97m
	評価ポイント	令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた北八幡川の護岸復旧を目的とし実施した災害復旧工事である。 改修期間中の想定外の出水対策として、水位警告灯や遠隔監視カメラを設置し、出水時の早期対応体制を構築した。また、河川内盛土を大型土のうに変更し、河川断面を確保するなどリスク軽減を図り、工事中に発生した計画以上の想定外の豪雨に対しては、仮設ポンプ増設により迅速に対応した。 限られたヤードと軟弱地盤下での高精度な施工管理を必要とするコンクリート矢板の打ち込みにあたり、仮設工の変更、標準貫入試験結果に基づいた大型施工機の採用などによりスムーズな施工を実現するとともに、騒音・振動・仮排水への配慮や出水時の安全対策を徹底した。	

部門	工事写真	工事名	松代温泉団地3号ポンプ施設整備工事
河川部門		工事場所	長野市松代温泉
		受注者	長電建設株式会社
		工事概要	水路工 L = 253m 自由勾配側溝 1000 型 L = 37m 強化プラスチック複合管 $\phi 300 \times 2$ 条 L = 216m ポンプ槽築造 N = 1 箇所
	評価ポイント	現場は地下水位が高く水量も多いため、仮設の大型水中ポンプ2台を常時稼働させないと作業が困難である中、設計より広範囲に土留用鋼矢板を打設、また鋼矢板の腹起しを強度の高い材料に変更し切梁・火打ちを無くすことで、施工空間を広げ作業の効率化を図るとともに、ポンプ槽の壁と頂版のコンクリートを同時に打設することにより、構造物の水密性・耐久性を向上させた。 さらに、仮設の水中ポンプ用の発電機を住宅から離れた場所に設置し、全長230mになるケーブルを通行の支障にならない既設水路内へ設置するなど、近隣への騒音防止や通行者への安全に配慮した。	

部門	工事写真	工事名	柳原小学校雨水貯留施設整備工事
構造物部門		工事場所	長野市大字小島
		受注者	共進建設株式会社
		工事概要	貯留施設工 浸透貯留施設 N = 1 箇所 (貯留量 V = 390m ³)
	評価ポイント	校庭の継続利用など制約がある中、土工作業にレーザーレベルを使用し、掘削作業を迅速正確に進めた。一般道から現場への運搬路での通行困難な区間は、借地により大型車両の運行を可能とし、効率的な運搬作業・工期の短縮を図った。 地下水位が高く想定より軟弱地盤であったため基礎構造が変更となったが、直ちに原位置試験・構造計算を行い、地盤対策工法の提案までを短期間に実施するなど工程管理にも優れ、予定されていた学校行事までに余裕をもって工事を完了させた。	

部門	工事写真	工事名	(仮称) 長野市豊野防災交流センター 整備事業 建築主体工事
建 築 部 門	 	工事場所	長野市豊野町豊野
		受注者	川浦・野村建設共同企業体
		工事概要	次の建築物の建設等に係る建築主体工事一式 ①複合施設棟 木造平屋建て 延床面積 974.03㎡ ②身障者駐車場 鉄骨造平屋建て 延床面積 38.28㎡ ③水防倉庫棟 鉄骨造平屋建て 延床面積 50.00㎡ ④上記に伴う外構工事一式
	評価 ポイント	設計図書の内容を十分に理解したうえで、適切な工程管理・品質管理を行い、安全や周辺環境に配慮した施工を行うとともに、設計条件の変更を伴う不測の事態にも適切に対応した。 着脱式スロープや止水板収納棚の設置など、施設の利便性を考慮し、設計図書以外の施工提案が見られた。また、インターンシップの受入れや現場見学会を複数回行い、若手技術者の育成や建設業のイメージアップに積極的に取り組んだ。	

部門	工事写真	工事名	0 市債 国補 三輪小学校西校舎 長寿命化改修電気設備工事
電 気 設 備 部 門		工事場所	長野市三輪八丁目
		受注者	株式会社コスモ電設
		工事概要	次の建築物の長寿命化改修に係る 電気設備工事一式 西校舎改修 鉄筋コンクリート造 延床面積 2,294㎡
	評価 ポイント	受注者は設計図書の内容をよく理解・把握しながら施工しており、品質及び出来栄に優れているとともに、竣工図書もよく整備されていた。 既存躯体を利用した改修工事のため施工に制約があったが、機器配置や配線方法を工夫しながら施工を行った。また、安全性やメンテナンス性を考慮し、かつ将来の電気設備（配線）の拡張にも対応できる施工方法を提案するなど積極的な創意工夫に取り組んだ。	

部門	工事写真	工事名	(仮称) 長野市豊野防災交流センター 整備事業 機械設備工事
機 械 設 備 部 門		工事場所	長野市豊野町豊野
		受注者	株式会社日拓
		工事概要	次の建築物の建設等に係る 機械設備工事一式 ①複合施設棟 木造平屋建て 延床面積 974.03㎡ ②水防倉庫棟 鉄骨造平屋建て 延床面積 50.00㎡
	評価 ポイント	受注者は設計図書の内容をよく理解・把握しながら施工しており、品質及び出来栄に優れているとともに、竣工図書もよく整備されていた。 屋外配管と他工事（盛土工事）との施工順序の工夫による工程短縮・省コスト化の提案や、排水逆流防止用のナイフゲート弁から逆流防止柵（逆止弁）への使用材料変更による逆流防止の自動化の提案など、積極的な創意工夫に取り組んだ。	

部門	工事写真	工事名	(仮称) 若穂スマートIC 関連下水道工事
上 下 水 道 部 門		工事場所	長野市若穂川田
		受注者	高木建設株式会社
		工事概要	内径250mm HP管布設（推進工法）L = 50m 内径300mm HP管布設（推進工法）L = 220m マンホール設置工 N = 5 基
	評価 ポイント	工事箇所は礫質土と粘性土が極めて複雑に分布していたが、現場条件に適合した工法の再検討・再掘進の段取りを迅速に行い、適切な施工管理により高い精度を確保し工事を完成させた。 既設管との接続にあたり、当初は既設管を止水するため地上配管による汚水バイパスを設置する計画であったが、周辺に小学校や保育園が立地し大型車両の通行も多い路線であることから、既設下水道管を供用しながら接続する方法を立案し、安全かつ経済的な施工の実現につなげた。 また、受注者自ら他現場の残土発生状況を調査し調整を行い、仮設材として発生土を受入れるなど、建設発生土を有効活用した。	